



## 教員紹介

### 経営学部

#### 杉浦 優子 SUGIURA Yuko

職位	准教授
最終学歴	名古屋大学大学院経済学研究科博士後期課程修了
職歴	大阪成蹊短期大学などを経て、現職
学位	博士（経済学）
資格（免許）、認定	
担当科目（学部）	ゼミナール / キャリアサポート / 国際労働 / 日本経済論 / 経営組織論
担当科目（大学院）	
学生へのメッセージ	皆さん一人一人が星城大学の「輝く星」です。大学での学びを通じて、皆さんの輝きが増すように、様々なことに挑戦してください。
研究内容	社会-技術システム
研究分野キーワード	人的資源管理 / 経営組織 / 経営管理
URL	
著書	1) 岸田民樹（編著）、高木孝紀、 <b>杉浦優子</b> 、藤川なつこ、高橋和志、『組織学への道』、文真堂、pp.61-91、2014年 2) 経営学史学会監修、岸田民樹（編著）、風間信隆、寺澤朝子、趙偉、 <b>杉浦優子</b> 、小橋勉、稲村毅、『経営学史学会創立20周年記念経営学史叢書 第Ⅷ巻 ウッドワード』、文真堂、pp.137-145、pp.153-155、2012年 3) 岸田民樹（編著）、寺澤朝子、山下剛、 <b>杉浦優子</b> 、趙偉、藤川なつこ、荒深友良、林徹、林淳一、蔡展維、小橋勉、鐘偉、石井圭介、岩田奇志、『組織論から組織学へー経営組織論の新展開ー』、文真堂、pp.39-53、2009年 4) 岸田民樹（編著）、荒深友良、小橋勉、寺澤朝子、趙偉、 <b>杉浦優子</b> 、田中政光、林淳一、吉田孟史、林徹、渡辺伊津子、『現代経営組織論』、有斐閣、pp.114-132、2005年

論文	<p>1) 杉浦優子、「ノーマル・アクシデント理論と高信頼性理論の『技術観』」『経営学史学会年報』第 28 輯、pp.97-108、2021 年</p> <p>2) 杉浦優子、「社会－技術システム論における『責任ある自律』の概念－Bion からの影響について－」、『大阪成蹊短期大学 研究紀要』、第 17 号（通巻 57 号）、pp.113-122、2020 年</p> <p>3) 杉浦優子、「組織の生成・発展と技術システム」、『経済科学』、第 60 巻第 3 号、pp.71-80、2013 年</p> <p>4) 杉浦優子、「課業志向と改善活動－社会－技術システム論の観点から－」、『名古屋外国語大学外国語学部紀要』、第 39 号、pp.119-134、2010 年</p> <p>5) 杉浦優子、「社会－技術システム論と Bion（ビオン）の諸研究」、『名古屋外国語大学外国語学部紀要』、第 37 号、pp.85-100、2009 年</p> <p>6) 杉浦優子、「トヨタ生産方式と労働者の自律性－社会－技術システム、フォード・システムとの比較において－」『経済科学』、第 50 巻第 3 号、 pp.127-147、2002 年</p> <p>7) 杉浦優子、「組織における個人の自律性」、『経済科学』、第 49 巻第 4 号、pp.185-201、2002 年</p>
学会発表	<p>1) Yuko Sugiura “The NAT/HRT debate: Dead end? Or can they be integrated?,” 2022 Joint Conference: Taiwan-Philippines-Japan Academic Conference (TPJ) and the CNU- Festival on Innovations Research and Extensions (FIRE) (November28,2022)</p> <p>2) 杉浦優子、「ノーマル・アクシデント理論と高信頼性理論の適用範囲－COVID-19 が示唆するもの－」経営学史学会全国大会（2021 年 5 月 30 日、駒澤大学）</p> <p>3) 杉浦優子、「ノーマル・アクシデント理論と高信頼性理論の『技術観』」、経営学史学会全国大会（2020 年、誌上開催）</p> <p>4) 杉浦優子、「日本的生産システムにおける個人の自律性」、組織学会研究発表大会（2001 年、香川大学）</p>
社会的活動  (公開講座・講演・  国際交流など)	<p>公益財団法人 阪和育英会評議員</p>
その他	<p>杉浦優子、「原発事故と COVID-19－相互作用とカップリング－」『中部経済新聞』2022 年 12 月 9 日</p>